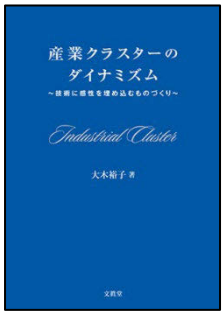
【著作紹介】産業クラスターのダイナミズム　―技術に感性を埋め込むものづくり



著者：大木　裕子（ライフデザイン学部健康スポーツ学科　教授）
出版社：文眞堂
出版年：2017 年 2 月発行
価格：3,200 円＋税
ISBN：9784830949302

所蔵状況を確認する
http://triton.lib.toyo.ac.jp/detail?bbid=U102282079

内容：
産業クラスターの持続的発展のためには，製品の高度化，即ち，ハイエンド向けの洗練された製品を創造するイノベーションが不可欠である。本書では，シリコンバレー，景徳鎮，有田，クレモナのものづくりクラスターの実証研究を通じて，最先端クラスターと伝統的クラスターに共通する製品高度化のメカニズムを解明する。

文眞堂の紹介ページ
http://www.bunshin-do.co.jp/catalogue/book4930_NS01.html#book_main

教員メッセージ

【著作への思い】
これまで 10 年以上にわたり実施してきた産業クラスター研究をまとめたもので、アメリカの最先端産業クラスターのシリコンバレー、イタリアのヴァイオリン製作クラスターのクレモナ、日本の陶磁器クラスターの有田、中国の陶磁器クラスターの景徳鎮を取り上げています。
製造大手企業に匹敵する産業クラスターのものづくりは世界にも大きなインパクトを与えています。
伝統と革新のジレンマの中で、企業群が新たな市場をどのように創造しているのかを語っています。

【対象読者】
イノベーションに興味のある人たち、伝統産業に興味のある人たちに読んでいただきたいです。

【著作から得られること】
経営の楽しさ、ものづくりのワクワク感、リーダーの重要性、豊かな感性が市場を創ります。

【執筆の裏話】
AI 時代になっても、人の手によるものづくりは継続していきます。ものづくりの現場の楽しさを感じながら、取材を続けてきました。

目次

はじめに

第 1 章　ものづくりにおける産業クラスターの意義

1．産業クラスター研究の軌跡
　(1)産業集積としての捉え方
　(2)産業クラスターとしての捉え方
　(3)ソーシャル・キャピタルの視点
　(4)イノベーションの研究
　(5)更なる実証研究の必要性
2．本研究の枠組

第 2 章　シリコンバレーの最先端産業クラスター

1．はじめに
2．シリコンバレーにおける技術革新の歴史
　(1)その土壌
　(2)イノベーションの潮流
　(3)シリコンバレーのクラスターとしての持続的発展
3．シリコンバレーの社会構造
　(1)現状
　(2)クラスター分析
4．シリコンバレーにおけるイノベーション
5．おわりに

第 3 章　景徳鎮の陶磁器産業クラスター

1．はじめに
2．中国陶磁器の歴史
　(1)その土壌
　(2)景徳鎮の陶磁器産業の歴史　宋代～清代まで
　(3)清時代後期以降の景徳鎮
3．官窯と民窯の役割の変化
4．景徳鎮の社会構造
　(1)現状
　(2)景徳鎮の分業とネットワーク
　(3)陶磁政策
　(4)景徳鎮陶磁器のマーケティング・ミックス
　(5)景徳鎮のクラスター分析
5．景徳鎮におけるイノベーション
6．おわりに

第 4 章　有田の陶磁器産業クラスター
1．はじめに
2．有田の陶磁器産業の歴史
(1)世界有数の高品質な原材料の産地
(2)有田焼の“伝統”
(3)伝統工芸士による伝統の継承
3．有田の社会構造
(1)現状
(2)有田の分業とネットワーク
(3)陶磁政策
(4)有田陶磁器のマーケティング・ミックス
(5)有田のクラスター分析
4．有田におけるイノベーション
5．おわりに

第 5 章　クレモナのヴァイオリン産業クラスター
1．はじめに
2．イタリア・クレモナのヴァイオリンづくりの歴史
(1)ヴァイオリンの誕生
(2)クレモナからイタリア各地へ
(3)クレモナの復活と世界の状況
3．クレモナの社会構造
(1)現状
(2)クレモナのマーケティング・ミックス
(3)クレモナの製作者たちの意識
(4)クレモナのクラスター分析
(5)クラスターの特徴
4．クレモナにおけるイノベーション
5．おわりに

第 6 章　技術に美的感性を埋め込むものづくり
1．製品高度化の条件
(1)前提条件
(2)製品高度化への条件
2．高度なものづくりへの移行メカニズム
(1)人材育成とブランド構築
(2)ビジネス・プロデューサーと顧客の育成
(3)製品を高度化するためのメカニズム～ものづくりに必要な感性
3．おわりに

むすび

主要参考文献

索引

［著者］　大木　裕子（オオキ　ユウコ）

東京藝術大学音楽学部器楽科卒業後ビオラ奏者として活動する。
早稲田大学大学院アジア太平洋研究科国際経営学修士課程，同研究科博士後期課程修了後，昭和音楽大学音楽学部，京都産業大学経営学部教授を経て，東洋大学ライフデザイン学部教授（現職）。主な著書に，『オーケストラのマネジメント』『クレモナのヴァイオリン工房』『ピアノ 技術革新とマーケティング戦略』（いずれも文眞堂）などがある。博士（学術）。

関連リンク

東洋大学研究者情報データベース（大木裕子教授）
http://ris.toyo.ac.jp/profile/ja.edc2ffb6341b37ae7ea9633a3592084c.html
高齢者と文化消費―国際音楽祭を中心として―（東洋大学学術情報リポジトリ）
http://id.nii.ac.jp/1060/00009844/
BBC Proms の顧客育成と音楽ビジネスへの影響に関する一考察（東洋大学学術情報リポジトリ）
http://id.nii.ac.jp/1060/00008644/